

原は2得点の活躍。しかし、チームを勝利に導くことは出来ず、自身の公式戦無敗記録も止まってしまった



試合後、選手たちの表情もこの日の天気のように曇っていた。この試合は大臣杯に向けいい教訓にはなっただろう



6月12日 15:30 西が丘サッカー場

駒大2(1-1)3流経大
(関東1部) (関東2部)

得点者(アシスト)

- 【駒】2分:原一樹 3
- 【流】32分:岡本勇輝 1(池田昌広 1)
- 【流】61分:船山祐二 1(岡本勇輝 1)
- 【駒】61分:原一樹 4(赤嶺真吾 1)
- 【流】64分:栗澤遼一 2(PK)

KOMAZAWA	RYUTSUKEIZAI
GK①牧野利昭(2)	GK①塩田仁史(4)
DF②桑原 靖(2)	DF③富山達之(3)
DF⑤鈴木祐輔(3)	DF②小島敏之(4)
(55分)⑥巻 佑樹(1)	DF④木下大嗣(4)
DF⑥大澤陽介(3)	DF⑨小沼純矢(2)
DF⑦筑城和人(1)	(55分)⑩千 政珉(2)
MF⑥中後雅喜(3)	MF⑥中島俊一(3)
MF⑩橋本早十(4)	MF⑩船山祐二(1)
MF⑧中田洋介(4)	MF⑧池田昌広(4)
MF④小林 亮(3)	MF⑩栗澤遼一(3)
FW⑨原 一樹(1)	FW⑦箕輪圭介(4)
FW⑨赤嶺真吾(2)	(81分)⑪杉本圭太(3)
(69分)⑫小林卓也(4)	FW⑨岡本勇輝(2)
S U B	S U B
GK④浦原隼一郎(3)	GK④埴 豊満(4)
DF⑩栗原建次(3)	DF⑦伊奈 央(2)
DF⑥廣井友信(1)	DF⑥西森正明(1)
MF⑦岩本哲也(3)	MF⑩阿部 嵩(1)
MF⑨井邑大(3)	FW⑩横山 大(1)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	中野雄二

警告(C)/退場(S)

- 【駒】65分:筑城和人(C)
- 【流】70分:箕輪圭介(C)、84分:中島俊一(C)

[シュート]26:6[枠内シュート]10:3[決定機]11:4[CK]6:23
[PK]15:4[FK]0:1[直接FK]12:16[間接FK]6:5[OS]6:5
[支配率]57%:43%[主審]岡野 宇広[観衆]約450人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機、支配率は本誌記者による記録

64分に筑城(中央)がペナルティーエリア内でファウルを犯してしまう



公式戦初出場を果たした大澤。しかし、試合後は「全然ダメでした」と本人が言うようにほろ苦いデビューとなってしまった



後半、小林を投入するも流れを変えることは出来ず

関東選手権準々決勝ハイライト

伏兵・神大に苦戦するも準決勝進出!!

2003年6月7日 アミノバイタルフィールド
駒澤大学1-0神奈川大学

得点=79分:原一樹(巻佑樹)

警告(C)/退場(S)
駒=赤嶺真吾(C)、田中信成(C)

駒澤大学●GK牧野利昭/DF小林亮、鈴木祐輔、桑原靖、廣井友信/MF田中信成、橋本早十、中田洋介、中後雅喜/FW巻佑樹(85分関光博)、赤嶺真吾(63分原一樹)

神奈川大学●GK堀史人/DF和田竜也(81分遠山深)、大場秀太郎、松永謙一、福田和寿/MF鈴木隼人(80分雨宮洋平)、中川勇人、越川幸裕(66分工藤恭徳)、石神直哉/FW佐藤英幸、浅井圭太

[シュート]30:5、[枠内]14:1、[決定機]12:1
[GK]9:19、[CK]15:2、[PK]0:0
[OS]4:15[直接FK]12:15、[支配率]52%:48%

※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機、支配率は本誌記者による



神大の粘り強いディフェンスに苦戦したものの、駒大が準決勝進出を決めた(撮影・岩田陽一)

今年も関東1部のチームが早々に姿を消すなど波乱が起こっている関東選手権。駒大の準々決勝の相手・神大はその象徴的なチームと言って間違いないだろう。ここまで関東2部の慶大、関東1部の日大を倒し準々決勝にまであがってきた。決して油断の出来ない相手であった。

試合は序盤から駒大ペース。決定機は幾度とつくるものの肝心

のゴールがなかなか決まらない。後半に入っても、展開は全く変わらず、痺れをきらしたベンチはこの日先発を外れていた原をたまたまらず投入。この采配がズバリ的中。79分、巻がヘディングでそらしたボールにいち早く反応した原が落ち着いて決め先制。結局、試合はこのまま終了。大臣杯のキップを手にした駒大だが次節へむけ不安の残る試合となってしまった。